

6.23

「どうする！ 介護福祉制度の大改定」

公開討論会

場所 日比谷野外音楽堂

日時 2016年6月23日
13:00～15:30

主催：福祉用具国民会議

- ①主催者代表挨拶
- ②基調講演
- ③各政党からの挨拶
- ④来賓挨拶
- ⑤公開討論会
- ⑥署名提出 出発式

「どうする！ 介護福祉制度の大改定」

政府は、高齢化に伴う社会保障費の伸びを抑制するために、介護保険で受けられるサービスの費用負担の仕組みを大きく変えようとしています。

昨年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改革（2018年度）で、軽度者の生活支援サービスの原則自己負担化を検討することが盛り込まれました。昨年、6月1日に取りまとめられた財政等審議会の建議書の中では、より具体的に、要支援1から要介護2までの

- ①生活援助
- ②福祉用具貸与
- ③住宅改修について、「原則自己負担（一部補助）」

に切り替える案が提起されています。

さらに、要介護2までのデイサービスなど、すべてのサービスを地域支援事業に移行するという案やサービス利用者2割負担の対象拡大案も含まれています。見直しの議論は今後、厚生労働省の社会保障審議会の場で行われる予定です。

現在の介護保険の福祉用具サービス給付状況を見ると、在宅で介護する半数以上の方々が利用しており、住み慣れた家で暮らし続けるために不可欠なものになっています。そうした中で、福祉用具の費用負担の仕組みを大きく変えることは、在宅での介護を難しくし、結果的にコストの高い人的サービスや施設サービスの利用を助長し、全体の社会保障費を大きく引き上げるおそれがあります。私たち福祉用具国民会議は、『福祉用具は、高齢になっても、病気や障害を持ってもなお、希望を持っていきいきと「普通の暮らし」を営むために必要不可欠な社会資源であり、他のサービスに比べ、コストも低く抑えられる』という理念の下、市民・国民の視点で、福祉用具供給システムについて立場を超えて議論しています。

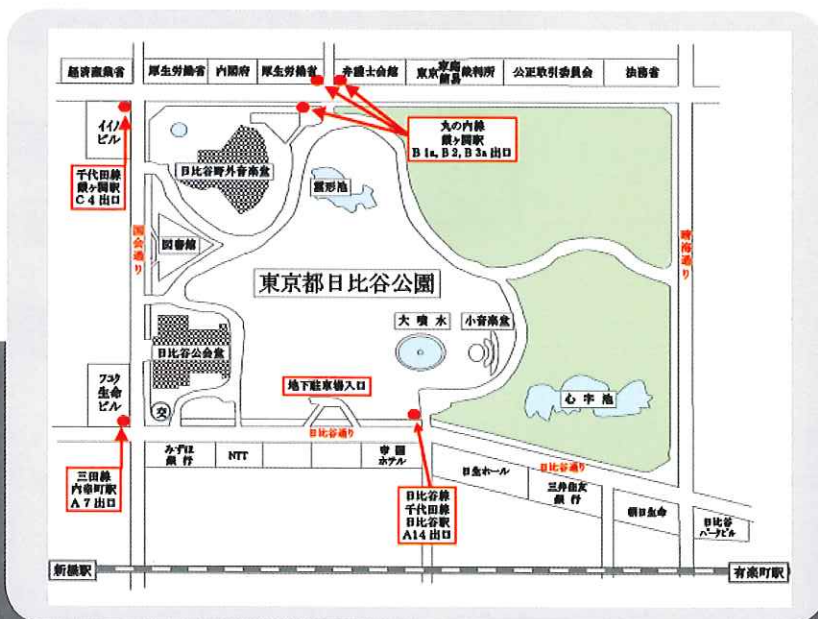
私たちは、福祉用具のみならず介護保険各サービスがこれ以上後退することなく、少なくとも現行の介護保険の仕組みが維持されることを強く求めます。そして、「要介護軽度者」へのサービス給付の削減が象徴している歳出削減を社会保障費に向けるという方針について、納税者として真剣に考える場として公開討論会を開催することにいたしました。

署名活動にご協力を！

公開討論会後に第1次署名を関係省庁に届けます。しかし、それで終了ではありません。皆さまの「声」をさらに集約し、第2次・3次と継続して届ける予定です。

ワンコインカンパにご協力をお願いします

福祉用具国民会議は、様々な立場を超えて、国民の視点で自由に議論する会議体です。会議に参加される方々一人ひとりが主体であるという認識の下、組織化せずに活動を行っております。運営資金も会議開催時にカンパや協賛いただける事業者の協賛金に依っています。本シンポジウムでも、皆さまからのご支援；ワンコイン（500円）をお願い致します。



連絡先：
福祉用具国民会議
公開シンポジウム運営委員会
〒101-0025 千代田区神田佐久間町 3-27-3
シルバー産業新聞東京事務所内 TEL03-5888-5791

6.23 公開討論会

「どうする！介護保険制度の大改定」

参加申込書

年 月 日

以下の必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までこの用紙をお送り下さい。

当日は、公開討論会の後、国に対して皆様から集まった署名を届けます。
在宅介護を守るため、皆様で是非声を上げましょう！
多くのご参加をお待ちしています。

日時：2016年6月23日（木） 13:00～15:30
会場：日比谷野外音楽堂（東京都千代田区）

貴社名／団体名	
お名前	
6.23 公開討論会への ご参加について	()名参加する

送付先FAX：**03-5888-5792**

(シルバー産業新聞社 東京オフィス)
福祉用具国民会議運営委員会「公開討論会」責任者 和田 勲 行